

会報

No. 107

令和4(2022)年9月15日

<https://www.library.pref.kyoto.jp/k-lib/council>

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町

京都府立図書館内

TEL (075) 762-4655

<目次>

1 面

・「京の老舗」やご先祖調査に大活躍 『京都商工人名録』が検索可能に！
(京都学・歴史館)

2 面／3 面

・読書手帳の導入(久御山町立図書館)
・ケーブルテレビで「テレビおはなし会」
(京丹後市立あみの図書館)
・ICタグ導入について(井手町図書館)
・スマホが「かしだし券」に!!(綾部市図書館)

4 面

・Zoom によるオンライン対面朗読の実施について
(京都府立図書館)
・令和4年度京図連協研修予定

『京都商工人名録』は業種別にどのような店があるかが一覧になっており、名前、商号、住所、電話番号、営業税が記載されています。作成は京都商業会議所(現在の京都商工会議所)で、初版は明治三十六年です。その後数年おきに発行されています(表参照)。令和四年の申請な

まず、「京の老舗」表彰についてご説明します。「京の老舗」表彰は、京都府が明治維新から百年にあたる昭和四十三年から開始した制度で、京都府内において創業百年以上で、堅実に家業の理念を守り、他の模範となる企業や店を「京の老舗」として表彰する制度です。表彰されるには、百年前に営業していた証拠(例えば年月日の記載のある表彰状など)となるものの写しを添えて申請する必要があります。そこで『京都商工人名録』の出番となります。

京都府立京都学・歴史館における六月の風物詩とも言えるでしょうか。毎年六月になると、「京の老舗」表彰に関する調査のための来館者が増え、明治・大正期の『京都商工人名録』の利用がとて多くなります。歴史館ではその利用に対応するため、令和三年に『京都商工人名録』のデジタル化を行い、このたび令和四年六月に一部を検索出来るようにデータベース化し、インターネットで公開しました。

「京の老舗」や
ご先祖調査に大活躍
『京都商工人名録』が
検索可能に！

京都学・歴史館 楠 久美

ら、百年前にあたる大正十一(一九二二)年版やそれ以前のものに、店や当時の経営者の名前が載っていたら、百年前に営業していた証拠となるわけです。

歴史館では、資料保存と遠隔からの利用のため、所蔵している明治三十六年から昭和二十三年までの『京都商工人名録』十三冊をデジタル化してインターネット公開しました。しかし、ページ数が多いため掲載ページの画像にたどり着くのが難しく、結局来館する、ということがたびたびありました。そこで、内容を検索でき、かつ、検索結果から画像の確認がすぐできるよう、データベースを作成しました。『京都商工人名録』のうち、明治三十六年、四十年、大正十一年の三年分について、業種、名前、商号、住所から検索できるようになっています。

入力したデータは、専用のデータベースが用意できなかったため、ひとまず歴史館のデジタルアーカイブ内の「京都関係雑誌記事等」というデータベースの中に投入しました。そもそも雑誌記事検索のデータベースなので、「タイトル」や「著者」などの項目を利用することになり、見た目にはとてもスマートとは言えません。しかし、検索が可能になったことで、以前のように画像を探す手間がなくなり、効率的にレファレンス対応ができるようになりました。また、デジタル画像が利用しやすくなり、本来の目的である、資料保存と遠隔からの利用にもつながったと考えています。

このデータベースでは、住所(例えば「烏丸四条 など」でも検索できるので、『京都商工人名録』本来の「業種別」という枠をこえて、地域にどのような店があったかを調べられます。歴史館ではよ

京都府立京都学・歴史館 デジタルアーカイブ (公開)

資料詳細

項目	内容
書名	京都府立京都学・歴史館 デジタルアーカイブ (公開)
著者	京都府立京都学・歴史館
発行年	2022
ページ数	1000
ファイル形式	PDF
アクセス権	公開

『京都商工人名録』の所蔵状況 (歴史館、国史館)

所蔵館	昭和36	昭和40	昭和44	昭和48	昭和52	昭和56	昭和60	昭和64	昭和68	昭和72	昭和76	昭和80	昭和84	昭和88	昭和92	昭和96	昭和100
歴史館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国史館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※はデータベース化しているものを示す。

くある「明治・大正期の住宅地図が見たい」という質問の意図に対する一つの手がかりになるのではと期待しています。ただ、残念なことに『京都商工人名録』に収録されている情報は京都市内のもに限られ、かつ、全ての業種を網羅しているわけではありません。そこで歴史館では、人名や商店の情報が収録されている図書のリストや、国立国会図書館のデジタルコレクションで公開されている業種別名簿(『滋賀県京都府商工人名録』『京都商業家名鑑』など)のリンク集を作って広くカバーできるように備えています。このリンク集、今は館内用ですが、近々公開予定ですので、そのときは活用ください。

『京都商工人名録』は「京の老舗」表彰以外にもご先祖調べなどにもよく利用される資料です。データベース化したことで、行政文書の閲覧者からは「新たな発見につながった」との報告もいただいています。明治・大正期の人物調査の時には、ぜひ一度歴史館のデジタルアーカイブで『京都商工人名録』を検索してみてください。

読書手帳の導入

久御山町立図書館 生駒 菜摘

久御山町立図書館では、久御山町子ども読書活動推進計画の取組の一つとして、『読書手帳』を令和四年七月二十一日から導入することになりました。

近年、スマートフォンアプリで読書履歴を管理できたり、文房具として読書を記録できる手帳が販売されており、図書館においても利用者が自分で貸出記録を書き込むタイプや、通帳の形をした冊子に専用の機械で貸出記録を印字するタイプなど、それぞれ工夫された方法で運用がされています。いずれの方法も、本を読んだ実績が目に見える形で記録されていくことは、子どもたちの達成感や自信につながり、読書意欲の向上が期待されると思います。

当館では読んだ本のタイトルや感想などを記録できる手帳大の冊子に、貸出記録が印字されたシールを貼り付けて記録をしていくことにしました。また、図書館で貸出した本以外に、学校や家庭で読んだ本も書き込んで記録できるようにしています。

現在使用しているシステムに拡張可能であり、経費的な面から導入が可能であったため、スタートすることができました。

この冊子を町内在住の0歳～中学生までの希望者に配布し、対象の利用者の貸出時にはシールを打ち出すことにしました。読書の記録は個人情報を含むものという観点から、また強制するものではない

ということから、あくまで希望者にシールを打ち出すこととしています。

運用開始にあたり、大人の利用者から冊子が欲しいと言われた場合は？冊子をなくしてしまった場合は？貸出記録が印字されたシールだけ欲しいと言われた場合は？など新しい事業を始めるため、さまざまなケースを想定し、ルールを決めました。

子どもたちの読書支援のために導入した『読書手帳』ですが、配布対象外の方にも、ご希望があれば取り組んでいただけるように、HPにPDF版を載せて、ご自身で印刷をできる方法も検討しています。

まだまだ始めたばかりの『読書手帳』ですが、子どもたちにとって楽しんで読書活動に取組むきっかけとなり、また図書館利用につながればと思います。



ケーブルテレビで「テレビおはなし会」

京丹後市立あみの図書館 田辺 聖子

新型コロナウイルス感染症の拡大により、京丹後市においても図書館での行事が次々と休止になりました。令和二年四月十八日からは図書館が臨時休館となり、サービスすべてが一時ストップしてしまうというこれまでにない事態になりました。例年であれば四月には、「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」にちなんだおはなし会などを実施する時期でした。そこで、おはなし会に代わる取組ができないかと職員で話し合い、京丹後市内を放送区域とするケーブルテレビ（ACTV京丹後局）のコミュニティチャンネルの中でおはなし会をするのはどうかという意見が出されました。

ケーブルテレビは、市内のニュースやイベントなど地域に密着した番組を放送しており、加入率は五〇％を超え（令和三年度時点）、多くの市民が視聴しています。ケーブルテレビで放送するにあたり担当課に相談すると、取材対象となる市内での行事がコロナの影響で軒並み中止され放送内容が少なくなっていたこともあり、すぐに実施することとなりました。

おはなし会の内容については、著作権の問題もあることから、昔話や手作りのもの、市民が出版された本等、放送可能な題材の中から決めました。また、朗読は地域のボランティアや職員で行うこととしました。

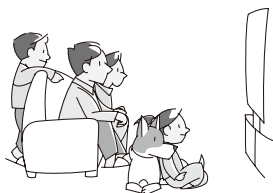
まずは四月下旬に市内の読み聞かせポ

ランティアグループが作成した昔話の大型紙芝居の収録を行い、五月下旬に一週間放送しました。その後も、地元の方が書かれた絵本や小学生が地域のお年寄りからお話を聞いて作った紙芝居など、合わせて八本収録し放送しました。放送の際には、ケーブルテレビの編集により字幕やBGMを入れるなど見やすい工夫をしていたいただき、また、実演したボランティアの方からは、「読み聞かせができなくて良かった」と喜んでいただきました。他にも、放送を見た方から再放送を要望する声をいただくなど、良い反響が多くありました。

これまでは、子ども向けのおはなし会を中心に実施していた演目や、地域の方の手づくりの作品で一般に貸し出していなかった作品など多くの方に見ていた、できたことは大きな収穫であったと思います。

今後は、番組をDVDにして市内の学校で活用してもらおうと準備中です。

また、他にもケーブルテレビの活用事例として、市内図書館・図書室に図書の除菌機を設置したときには使い方の実演を放送しました。コロナ禍の中で始まった新しい取り組み。引き続きケーブルテレビを活用して図書館の利用促進を図っていききたいと思います。



ICタグ導入について

井手町図書館 鈴木 浩史

井手町図書館は去る令和四年三月末にICタグ及び自動貸出機を導入しました。

これは、利用者と職員との間の接触を減らし、貸出手続きをスムーズにする「非接触型サービス」の展開を目指し、地域創生臨時交付金を活用して購入したものです。

導入に当たっては、読み取り距離が長く、複数タグの同時処理に長けたUHF帯のタグを選択しました。これにより、十二冊までの貸出資料を一度に処理できるほか、蔵書点検において、読み込み処理をこれまでよりもはるかに早く完了することが可能になりました。

また、タグの形状は図書用に製造された細長いもので、本のノド部分に貼り付けられれば利用者にはほとんど意識されない程度まで隠すことができ、剥がされたり脱落したりする心配もありません。

次に準備作業についてですが、当館ではまず、開架の図書・雑誌にICタグを貼付することとしました。具体的には①ICタグに資料番号を読み込ませる②資料に貼付③貼付完了の目印をつけるという作業を行いました。(そのため、当館の図書・雑誌資料には天に赤い線が引かれておりますが、ICタグ貼付の目印ですので、ご承知おきください)

作業は外部委託するという選択肢もありましたが、検討の結果自分たちで行うこととし、業務の合間を縫って、空いた

時間に少しずつ作業を進めました。慣れてくると一日に五〇〇〜七〇〇冊程度処理できるようになり、五カ月程度をもつて完了しました。

ICタグの導入によって、利用者の三割程度が自動貸出機を利用してくださるようになりました。これにより貸出手続きがスピーディになり、不要な滞館時間の軽減に役立っています。また、職員もその分読書案内やレファレンスなどに対応することができ、図書館サービス全体が充実してきています。

一方、視聴覚資料は貸出手続き上、自動貸出に適さず、書庫の資料は除籍候補に挙がる可能性があることなどを考慮し、ICタグの貼付を見送りました。よって、これらの資料を貸出しされる際は従来通りカウンタでの対応となっております。来年に迫った新館への移転に向けて、無断持ち出し防止ゲートの導入などを含め、今後の課題として検討していきたいと考えています。

スマホが「かしだし券」に!!

綾部市図書館 生駒 彩子

導入のきっかけ

「かしだし券」を忘れる、紛失する、沢山のカードがありすぎて見つからない。と言うのは、日常茶飯事の風景。銀行のキャッシュカードは迷子にならないのに、「かしだし券」の迷子のなんと多いことか! (同じくらい危険なのに!) 本を借りるには「かしだし券」が必要と



いう当たり前のことが理解されない事に頭を悩ませていました。中にはスマートフォン(以下スマホ)で「かしだし券」の写真を撮り、画面で提示する方も(「かしだし券」には顔写真がないため、本当にこの方の物かという不安も)。しかしスマホ決済の世の中、「かしだし券」もチケットレスになれば便利だよね! という事になり、意気込んでNECに要望すると、「今回のバージョンアップで来週からできますよ!」と、なんととも拍子抜けする回答。綾部市はNECの「e-libs」を利用しているため、早速サービス開始することに。もちろん、クラウド型におけるバージョンアップのため、設定費・使用料は0円。

具体的な内容は

スマホ用蔵書検索画面をタップ↓利用者認証(かしだし券の番号とパスワードを入力)でログイン↓画面をスクロールして下のほうにある利用照会をタップ↓バーコードが表示されます。(図①)

条件は

綾部市図書館のHPから新規パスワード登録するだけ

利用者の反応は

なぜか中高年齢層の方には「すごい事始めたな!」「すごく便利やね」と反応がよく、その割にスマホ世代には受けません。中高年齢層の方に説明すると、早速登録する方や職員に託す方も多い! 当館は冊数制限がないため、家族で一枚の「かしだし券」を作り利用している例もあります。紙の「かしだし券」は一枚しか発行できませんが、スマホだと共有ログインができるので便利! と様々な声を頂きましたが、まだ利用者は多くありません。

課題と展望

スマホを使い慣れていない世代の方への説明が難しく、このサービスを開始した頃は、職員は携帯ショッップのスタッフのようだったという笑い話も! それでも、「かしだし券」そのものの写真を撮ってくる利用者もあり、違いが分かってもらえないことも。新規登録の時、「かしだし券」不要な方にも発行するのか? 三年ごとの更新時、スマホのバーコードで更新するのか? 再発行の時、「かしだし券」は発行せず番号だけを伝えるのか? と、まだまだ課題は多いです。今後、新規発行時からチケットレスにできれば、「かしだし券」に必要な消耗品費の節約にもつながるといふ期待も!

余談だが

今回のサービスは、図書館員の「あればいいよね!」という声から始まったが、以前からこういう意見はありました。折角、クラウド型で常時バージョンアップが出来るのに、バージョンアップ内容についての詳細な説明がないことが

多いです。もう少し押しの強いお節介なS Eがいれば、いつも思います。パソコンシステムについて凡人の図書館員が、出来たらいいのに！と思う事は、すでにできているのではないかと疑ってしまいます。図書館員の「こんなことが出来たらいいな!!」を充実するために、ぜひ京都連協の輪を強くして情報交換し、もっと使いやすい図書館システム（メーカーの違いはあっても）を図書館主導で構築していくことが大切だと痛感しました。

Zoomによるオンライン 対面朗読の実施について

京都府立図書館 仁科 豪士

当館では、令和四年一月からの試行のあと、今年度からZoomによるオンライン対面朗読を実施しています。

一 実施の経緯

利用者と音訳者が相対して行う対面朗読は、新型コロナウイルスの影響で令和二年三月から中止を余儀なくされ、その後、感染防止策を講じて再開してから、利用は従来の半分程度の状況でした。

そうした中、府外のいくつかの館で、ウェブ会議システムによるオンライン対面朗読が実施されるようになり、問い合わせをしたところ、新たな利用者の獲得に繋がる例もあることなどが分かりました。そこで当館でも、来館が困難な人の利用促進を図ることを目的に、令和三年

五月から実施方法の検討を開始しました。

検討の結果、ウェブ会議システムは、PC版、スマートフォン版ともに音声化ソフトでの画面の読み上げに対応しているなど、視覚に障害のある人にも比較的操作しやすいとされていた「Zoom」を利用することにしました（アカウントは京都府が契約しているものを使用）。担当職員は、ホストとしての簡単な操作に慣れる必要があるため、九月以降、館内で接続テストなどを繰り返し行いました。

さらに、先行館に問い合わせるなどして、選定したマイクを調達しました（カメラはなし）。

二 実施方法

利用対象者は、当館の図書館カードをお持ちの京都府内に在住・通学・通勤の方で、視覚その他の障害により、活字による読書が困難な方としました。利用希望者には、希望日の一週間前までに電話、メールなどで申し込みいただき、担当者が当館に登録の音訳協力者との調整、対象資料やZoomの準備などを行います。利用者がZoomに慣れない場合は、接続テストなど使用方法に関するサポートも必要になります。

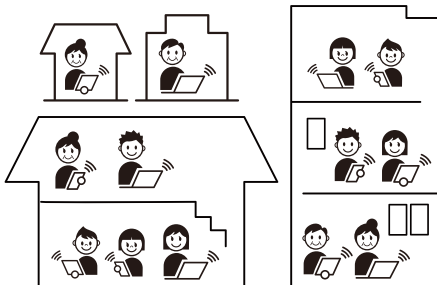
対面朗読当日は、音訳者に来館していただき、対面朗読室の端末と利用者の自宅を接続して資料を読んでもいただきます。音訳者にはミーティングルームへの入退室などZoomの操作もお願いするため、事前に操作説明を行うようにしています。

三 利用状況、課題等

オンライン形式の導入以降、昨年度と比較し、対面朗読の実施回数、利用者とも増加の傾向にあります。なお、今年度の対面朗読は、これまでのところ一〇〇%オンラインです。来館が困難でも利用できることから、今後ニーズは更に高まると考えられますし、各図書館にも潜在的なニーズがあるのではないでしょうか。

一方、利用の増加により音訳する資料の種類も多様化していくことから、音訳者の確保、活動のための支援などが課題になると思われます。また、利用者の中には、アプリのインストールなどICT利用の支援が必要な人もいることから、そうしたケースへの対応も課題に挙げられます。

当館でも、今後もまだまだ試行錯誤が続くと思われます。実施についてご興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



令和四年度京図連協研修予定

北部 十一月十一日（金）

テーマ「地方の図書館における図書館サービスの基本と課題について」

場所 福知山市市民交流プラザ三階市民交流スペースおよびオンライン配信

講師 是住 久美子 氏

（田原市図書館長）

中部 十二月ごろ（予定）

テーマ「（学校図書館を中心に）中学生・高校生に向けた読書推進活動について（予定）」

場所 未定

講師 未定

南部 令和五年一月ごろ（予定）

テーマ「図書館における著作権の問題について（予定）」

場所 府立図書館（予定）

講師 未定

第三十一回京都図書館大会

テーマ「連携する図書館」

日程 十一月二十八日（月）

場所 府立図書館からオンライン配信

〓会報はホームページに掲載〓

京都府図書館等連絡協議会のホームページに過去の会報も掲載しています。御利用ください。